

# 京都市子どものための市民憲章懇話会ニュース No.6 平成19年1月

発行:京都市子どものための市民憲章懇話会事務局 (京都市保健福祉局子育て支援部児童家庭課 / 京都市教育委員会生涯学習部)  
TEL:251-2380 FAX:251-2322 / TEL:222-3590 FAX:222-2061

## 素案に対する市民196名の意見をもとに、憲章素案を大詰め協議！

### 第5回 京都市子どものための市民憲章懇話会を開催

12月20日開催の第5回懇話会では、12月8日まで募集していただきました憲章素案に対する市民意見196通(概要は裏面)を踏まえ、憲章案について大詰めの協議を行いました。

今後、憲章は、プロジェクトチーム会議等での検討を経て、2月目途に制定となる見込みです。

### 委員からの主な意見

京都で子どもを育む市民の憲章として、前文で簡潔に趣旨を表現  
行動理念は5～6項目で、子どもに向け、大人・親として、そして家庭・地域社会で

#### <名称>

- 京都で子どもを育む市民の憲章であることが分かる名称がよい。



#### <前文>

- 憲章の趣旨を簡潔に分かりやすく表現する。
- 子どもを健やかで心豊かに育む社会を築くことを市民の使命としたい。
- 命と健やかな育ちを脅かすものに対して、毅然とした態度で臨む必要がある。
- 家庭、地域、学校、企業のほか、行政も憲章の担い手であることを明記する。

#### <行動理念>

- 項目数は5～6程度に絞る。
- 文は短く分かりやすくする。
- 「子どもの存在を尊重して命を守る」「子どもの可能性を信じて自ら育つ力を大切にすること」を表現したい。
- 「子どもから信頼され、模範となる行動に努めます」という項目はこれでよい。
- 「子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします」という表現でよい。
- 「親も(成長し)育ち学べる取組(行動)」の項目で、「子どもを育む喜び」も表現できないか。
- 子どもを見守り支える「地域のつながり」が、今後、実践するうえで大切である。
- 「自然の恵み」と「社会の環境づくり」の項目は、抽象的なので、前文で表現してもよい。
- 「自然の恵み」と「社会の環境づくり」は、重要な内容で、行動理念の締めくくりとしたい。

#### <その他>

- 憲章の中で、どのような子どもを育むのかという子ども像を示す必要はないか。
- 憲章の制定時期は、時間をかけて市民の動きがもっと広がってからのほうがよくないか。
- これまでの市民の盛り上がりによって、今、憲章を制定し、今後の実践で動きを広げたい。

#### 委員名簿[五十音順・敬称略] ◎は会長、○は副会長

石田 宏次 (京都青年会議所)
岡本 吉朗 (京都市民生児童委員連盟)
○日下部 潔 (京都市小学校PTA連絡協議会)
草地 邦晴 (京都弁護士会)
久保田真由美 (京都市PTA連絡協議会)
杓野 正憲 (京都障害児者親の会協議会)
高林 伸樹 (日本ボーイスカウト京都連盟)
長者 善高 (京都市地域生徒指導連合会)
辻 幸子 (京都府医師会)
○寺田 玲 (京都市社会福祉協議会)
中川 一良 (京都市児童館学童連盟)
西川 國代 (京都市保育園連盟)
西脇 悦子 (京都市地域女性連合会)
藤田 寿男 (京都市私立幼稚園協会)
藤本 明美 (京都市子育てネットワーク)
水野 篤夫 (京都市ユースサービス協会)
森田 眞利 (京都「おやじの会」連絡会)
-----
西岡 正子 (佛教大学教育学部長) [学識経験者]
◎藤原 勝紀 (京都大学大学院教授) [学識経験者]
宮本 義信 (同志社女子大学教授) [学識経験者]

## 憲章素案に対する市民意見(パブリックコメント)の募集結果(概要)

募集期間 平成 18 年 11 月 10 日～12 月 8 日

応募者数 196 名(郵送, FAX, 電子メール又は意見交流会・シンポジウム会場等で提出)

### 「名称」「前文」に関する御意見

1 「名称」について (126 件)		2 「前文」について (150 件)	
(1) 名称案を了解	30 件	(1) 前文案を了解	31 件
(2) 子どもの「ための」の表現に違和感	22 件	(2) 簡潔に分かりやすく	20 件
(3) 堅苦しいので柔らかく	23 件	(3) 具体的行動を示し浸透するように	11 件
(4) 名称の代案	40 件	(4) 京都らしさを示す	7 件
「子育て憲章」「子どもを育む憲章」 「子ども見守り憲章」「子ども憲章」等		(5) 段落ごとに見出しをつける	2 件
(5) サブタイトルの提案	10 件	(6) 追加・修正内容	24 件
(6) その他	1 件	(7) 段落ごとの意見	55 件
		〔 1 段落目 15 件 2 段落目 10 件 〕	
		〔 3 段落目 21 件 4 段落目 9 件 〕	

#### 御意見のポイント

2 段落目…「風格ある社会」の意味が分かりにくい。命や存在の大切さ、世代のつながり、子育ては親も大人も楽しいことを盛り込む等の御意見がありました。

3 段落目…「毅然とした態度」を何に対して示すのかが分かりにくい。子どもを見守り、褒め、子どもと共に成長する姿勢が大切等の御意見がありました。

4 段落目… 行政(京都市)の使命・関与も必要、「子どもたちとわたくしたちの今と未来のため」の「わたくしたち」はあえて言う必要はない等の御意見がありました。

### 「行動理念」に関する御意見

3 「行動理念」について (197 件)			
(1) 行動理念案を了解	18 件	(7) 表現・広報等(標語、漫画にする等)	6 件
(2) 項目数を絞る	25 件	(8) 項目ごとの意見	58 件
(3) 文を短く分かりやすく	21 件	〔 ① 10 件 ② 7 件 ③ 5 件 〕	
(4) 具体的な行動と表現を	18 件	〔 ④ 6 件 ⑤ 7 件 ⑥ 4 件 〕	
(5) 追加・修正内容	22 件	〔 ⑦ 5 件 ⑧ 4 件 ⑨ 10 件 〕	
(6) 主語について(京都市民に限定するか等)	8 件	(9) 行動理念の追加	21 件

#### 御意見のポイント

項目ごとには、①で「子どもの存在を尊重」、②で「子どもの可能性を信じ」とあえていう必要があるか、⑤の「生活習慣の確立」は家庭生活で行うべきもの、⑥の「成長するための行動」の表現が分かりにくい、⑦では「輪」よりも、だれもが話し合える地域づくりとしての「和」が大切、⑧は「社会をめざして行動」の表現が分かりにくい、⑨の「何よりも」の表現は必要か等の御意見がありました。

### その他の御意見

4 「憲章素案」全体について (100 件)		5 制定の経緯について (2 件)	
(1) 憲章素案を了解	33 件	6 広報・アピールの必要性 (14 件)	
(2) 文を簡潔に分かりやすく	16 件	7 その他の感想 (66 件)	
(3) 具体的な行動の必要性	21 件		
(4) 京都らしさを示す	5 件		
(5) 追加・修正内容	25 件		

多数の御応募ありがとうございました。